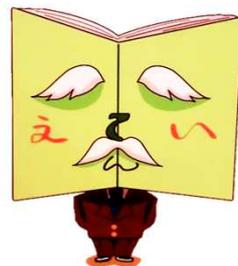


図書室だより vol. 5

いつも、文化の森てんえい「図書室」をご利用いただき、ありがとうございます。
今月も皆さんからのリクエストのほか、新刊・話題の本を数多く取り扱っていきま



文化の森からのお知らせ

平成28年度天栄村文化講演会開催！！

10月10日(祝)に、文化の森てんえい 多目的ホールにて今年度の文化講演会を行いました。講師には、ダウン症という障害を持ちながら書家として活躍されている金澤 翔子さんと母である金澤 泰子さんをお招きしました。講演では、翔子さんによる書の実践のほか、泰子さんの子育て論の話聞き会場に訪れた、200名の方々はとても感動していました。

また、最後には翔子さんが創作ダンスを披露し会場を和ませていただきました。



今月のおすすめ本紹介コーナー

月間おすすめ本紹介コーナーでは、読者の皆さんから図書室内の本について他の人にお勧めしたい本を200文字程度で書いてもらいその作品を紹介するコーナーとなります。

おすすめ本紹介は、図書室カウンター前に応募用紙がありますので、おすすめしたい本がありましたらぜひ投稿してください。

- ・募集期間 平成28年5月2日(月)～平成29年2月28日(火)
- ・募集内容 文化の森 てんえい「図書室」内にある図書
- ・投稿文字数 200文字程度
- ・その他 投稿して頂いたお礼に、参加賞を贈呈いたします。

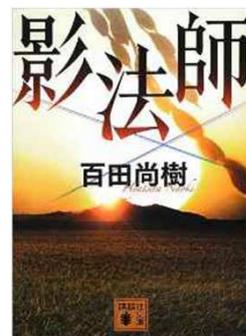
・おすすめしたい本を2作品紹介いたします。

I さんのおすすめ本

【影法師】百田 尚樹 作 講談社

江戸時代、東北の小藩 の物語です。下士の身分の主人公は、勉学に励み、中士以上の弟子しか入れない藩校に入学し、生涯の友と出会う。

主人公は、新田開発に取り組み、家老まで出世するが、その影には誰も知らない友の契りがあった。全人生を賭けて、友を生かそうとした男たちの物語です。



E さんのおすすめ本

【舟を編む】三浦 しをん 作 光文社

「辞書は言葉の海を渡る舟だ。」-27ページ、1行目より

「言葉」というコミュニケーションの記号と手段を覚え、その言葉ひとつひとつを編むことで私たちは日常を当たり前のように暮らしている。「言葉」は時代時代によって変化する「生き物」で、日々変化する「生き物」の性格や性質を捉えて「辞書」とは作られているのだとこの本を読むことで認識し、改めて「言葉」と向き会おうと思った。

生きている間に、どれだけ言葉と出会い、言葉が生まれる経験ができるか、そう思った本です。

